



リソキャッチ

再使用禁止

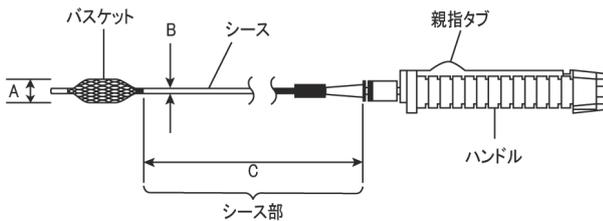
【禁忌・禁止】

1.使用方法
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、先端に自己拡張型のステンレス製バスケットが付いているカテーテルである。このバスケットを構成するワイヤがシースを通してハンドルにつながっており、ハンドル操作によるシースの押し引きによってバスケットを開閉し、結石又は異物を把持し、除去する。

本品は、12本のステンレススチール製ワイヤによって形成されるバスケットアセンブリ、シース部、及びハンドル部から構成される。



規格

| A バスケット外径 (展開時) | シース | |
|-----------------------|--------------|-------|
| | B:外径 | C:有効長 |
| 7.0mm | 0.73mm(2.2F) | 110cm |

最小適合内視鏡鉗子口径:1.13mm(3.4F)

＜主な原材料＞

ステンレススチール、ポリイミド、シリコーンコーティング

【使用目的又は効果】

本品は、尿路結石の摘出、体外衝撃波結石破碎術などによる結石破碎後の残石除去、尿路からの異物の除去などを目的として、一時的に体内に挿入して使用する尿路結石・異物除去用カテーテルである。

【使用方法等】

1. 準備

- 保護ケースに入った本品を滅菌包装から取り出す。
- 使用前にシースを真っ直ぐに保った状態で、ハンドル部にある親指タブをスライドさせ、バスケットが正しく開閉することを確認する。

2. 挿入

- バスケットを閉じてシースに挿入された状態で本品先端部を内視鏡鉗子口に挿入する。
- 内視鏡鉗子口内に本品を注意深く進め、本品先端部が内視鏡の挿入部先端から出てくることを目視確認する。

3. 結石の捕捉

- バスケットを結石の横、又は結石を越えた位置で開く。
- 開いたバスケットをゆっくりと引き戻し、結石をバスケット内に取り込む。結石の形、大きさに応じて、バスケットを全展開、あるいは半展開させると、結石を容易に取り込むことが出来る。
- 結石をバスケット内に捉えたら、バスケットをゆっくりと閉じ、結石を把持する。

4. 結石の除去

イントロデューサを内視鏡鉗子口のキャップから抜いた後(イントロデューサを使用した場合)、結石が入った本品を慎重に抜去する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- シースの折れ曲がり、本品の機械的作動を妨げることがある。
- 結石回収の際の嵌頓化を防止するため、内視鏡挿入前及び結石回収前に、あらかじめ尿管を拡張することを推奨する。
- 本品を挿入する前にエックス線透視検査によって結石のサイズを確認し、結石が大きすぎて内視鏡的に除去するのが不可能な場合は本品を使用しないこと。[結石嵌頓化を起こしたり、患者への傷害を引き起こすことがある。]
- 結石のサイズを確認したにもかかわらず、内視鏡鉗子口径よりも大きい結石を捕捉している場合、内視鏡を通して本品を除去できないことがある。この場合は結石を適切に把持できる本品の位置を慎重に維持しながら、内視鏡と本品を同時に尿管から抜去する。
- 本品の挿入時又は抜去時に、尿管及び関連組織を穿孔したり、血管損傷を与えないように注意を払うこと。
- 本品の挿入時又は抜去時に抵抗を感じた場合は、過度の力を加えないこと。[尿管を損傷させたり、本品が破損(バスケットの離断等)するおそれがある。]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 術者及び患者の安全を確保し本品の破損をふせぐため、作動中のどのような電気的な装置(電気水圧衝撃波破碎装置、等)にも接触させないこと。

2. 不具合・有害事象

本品の使用によって以下の不具合・有害事象が起こり得る。

その他の不具合

- はまり込み
- 大型結石の捕獲による除去不能
- 回収不能結石のバスケットからの取り外し不能
- バスケットの反転
- 本品の破損(バスケットの離断等)

その他の有害事象

- 浮腫
- 意図しない組織の捕捉および摘出

- ③ 出血
- ④ 穿孔
- ⑤ 尿管剥離

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法

本品は、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2.有効期間

3年[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* **製造販売業者:**

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

電話番号:03-6853-1000

製造業者:

米国 ボストン・サイエンティフィック コーポレーション

[Boston Scientific Corporation]